

はじめに

MTA についての講演を依頼されるようになって、10年近く経った。これまでいろいろなところでお話しさせていただき、また各種媒体で執筆も行ってきた。途中、東北大学大学院 歯科保存学分野にて MTA についての研究にも従事した。そのようななか、MTA はいまだ進歩を続けている分野ではあるが、そろそろこれまでを総括したいと思っていた。

そのタイミングで執筆したのが、月刊デンタルダイヤモンド2022年5月号・誌上テーブルクリニック「MTA のポテンシャルを活かす基礎とテクニック」であった。これは、日本歯科保存学会2021年度秋季学術大会「シンポジウムII」にて講演した「MTA を知ろう！使おう!!」の内容をベースとして執筆依頼を受けたものであり、まだ MTA に馴染みの薄い・使っていない先生を想定し、MTA を使ってもらうための基本をなるべくシンプルにまとめ、実臨床に導入してもらおうというのが狙いであった。それが好評であったとのことで、書籍としてまとめることとなった。

月刊誌に掲載した内容を「Chapter 1 ベーシック」として加筆・修正し、さらに MTA の適応症ごとにまとめた「Chapter 2 テクニック」を追加し、基礎から臨床までをカバーしつつもシンプルで読みやすい内容となるようまとめた。本書のコンセプトは「読んで、すぐに応用できる」である。なお、「Chapter 2 テクニック」では、東京医科歯科大学 歯髄生物学分野の同期・同窓かつ歯内療法症例検討会主宰メンバーでもある4名の先生にも参加いただいた。

現時点での最新の知見を取り込みつつ、臨床応用に直結した内容になったと自負している。しかしながら、MTA についての情報はどんどんアップデートされている。ぜひ、最新情報にも目を向けつつ、本書を参考に MTA の臨床応用を実践していただきたい。

2023年9月

須藤 享